

若者を戦争に行かせない 守れ！憲法9条

【平和といのちと人権を！5・3 憲法集会】
(横浜・臨港パークに3万人が集まった)

日本国憲法第9条 [戦争放棄、戦力及び交戦権の否認]
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

戦後70年、被爆70年の今年、私たちは「戦争だけはイヤだ」との思いをあらためて確認しています。ところが、安倍政権は憲法9条をもつ日本を「戦争する国」に変えようと暴走しています。戦争か、平和か、日本の針路が問われています。「戦争する国づくりストップ」の声をご一緒にあげましょう。

大切な人を戦争に行かせない！

自衛隊を戦闘地域に送り、武器使用を拡大すれば、戦死のリスクは格段に高まります。無事、帰還しても、人を殺し、殺される戦争に参加した後遺症・PTSDに苦しみ、米国のイラク戦争帰還兵は、1日平均22人が自殺しています。自衛隊でも、イラク派兵隊員の帰国後の自殺は54人。若者を戦争に行かせてはなりません。

えっ、私も?!

国民も戦争に動員される

すでに、日本への武力攻撃が発生し、自衛隊に「防衛出動」が命じられた場合に、自治体・国民を動員する有事法制があります。医療、建築、輸送、放送などの業務従事命令で、海外の戦争に国民を動員する法律です。
「存立危機事態」と政府が判断すれば、国民も海外の戦争に動員されてしまいます。



だから、全労連は「戦争法案」に反対します！

命より大切なものはありません。平和であってこそ、安心して働けます。人を殺す戦争のための労働、戦争を支える仕事など、イヤです。「教え子を再び戦場に送るな」(全教)、「再び白衣を戦場の血で汚さない」(医労連)、「2度と赤紙を配らない」(自治労連)、「平和こそ最大の福祉」(福祉保育労)。

私たち労働組合は「戦争法案」に反対します！

軍事費より、くらし・福祉に予算を！

軍拡の一方で国民生活は切り捨て ◆2015年度の社会保障予算の削減項目

4月1日の参院予算委員会・小池晃議員(日本共産党)提出資料より

介護報酬の引き下げ(マイナス4.48%)	1130億円
介護保険利用料への2割負担導入	123億円
介護施設の食費・部屋代の負担増	100億円
協会けんぽの国庫補助引き下げ	460億円
70歳・71歳の医療費窓口負担の2倍化	465億円
年金「特例水準の解消」(マイナス0.9%)	500億円
年金「マクロ経済スライド」の発動(マイナス0.9%)	800億円
生活保護の削減(生活扶助基準の引き下げ)	260億円
生活保護の削減(住宅扶助・冬季加算の引き下げ)	70億円
合計	約3900億円

アメリカが日本に購入させようとしている
米軍オスプレイ17機
約3600億円に匹敵!!

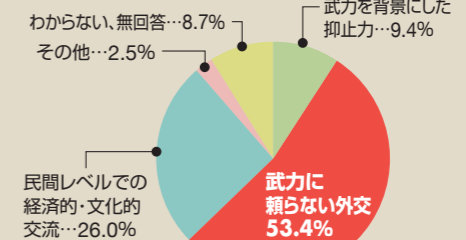
(米国防総省国防安全保障協力局推計)



戦争への道、世論はNO!

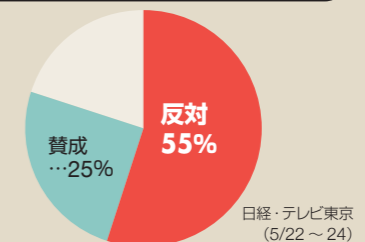
「武力によらない外交」が一番

これからも日本の平和を守っていくために、今、最も重視すべきことは何だと思えますか。次の3つの中から、1つお答えください。



NHK: 平和観についての世論調査2014 (2014年7月)

戦争法案 今国会成立に反対が賛成の2倍



日経・テレビ東京 (5/22~24)

力をあわせれば必ずストップできます。

あなたも、「かがやけ憲法署名」にご協力を! **全労連** 〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620
Email: webmaster@zenroren.gr.jp **全労連** 検索 <http://www.zenroren.gr.jp>